周参見川 洪水ハザードマップ

保存版

わが家の防災メモ

わが家の避難先（親類宅・避難場所など）	家族がはなればなれになった時の集合場所

家族の名前	血液型	会社・学校の電話番号	携帯電話番号

災害時緊急連絡先　火事・救急 119番　警察 110番　すさみ町役場 0739-55-2004

避難場所一覧

施設名	住所	電話番号	想定浸水深	土砂災害のおそれ
防地生活改善センター	周参見3551-1		0.5m未満	なし
周参見小学校	周参見4030	55-2049	浸水なし	あり
神田愛育文化センター	周参見3502-6	55-3606	浸水なし	あり
神田町立体育館	周参見3305-1	55-2236	浸水なし	なし
堀切生活改善センター	周参見1682-1	55-4592	浸水なし	なし
周参見中学校	周参見3692	55-2015	0.5m未満	あり
町商工会館	周参見3911-4	55-2293	1.0-2.0m未満	なし
町総合センター（周参見公民館）	周参見4120-1	55-3037	0.5m未満	なし
住民福祉会館	周参見3871-3	55-3445	1.0-2.0m未満	なし
地域福祉センター	周参見4133	55-4104	0.5m未満	なし
和歌山県南漁業協同組合 すさみ支所	周参見4866-7	55-2002	浸水なし	なし
漁村センター	周参見2050-28	55-3960	浸水なし	なし
町歴史民俗資料館	周参見2290	55-4059	浸水なし	あり

防災関係機関・医療機関一覧

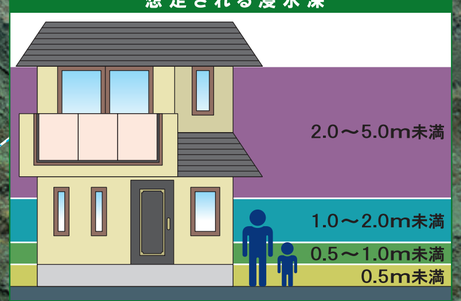
施設名	住所	電話番号
すさみ町役場	周参見4089	55-2004
すさみ消防署	周参見4036	55-2237
すさみ町消防団	周参見4035	55-4463
すさみ幹部交番	周参見4581-15	55-2055
国保すさみ病院	周参見2380	55-2065

災害時要援護者施設一覧

施設名	住所	電話番号
周参見保育所	周参見2341	55-2079

凡例

想定される浸水深



土砂災害

- 土石流危険渓流
- 土石流危険区域
- 急傾斜地崩壊危険箇所
- 急傾斜地被害想定範囲
- 砂防指定地
- 急傾斜地崩壊危険区域

施設等

- 避難場所（風水害）
- 町役場
- 警察関係
- 消防関係
- 医療機関

災害時要援護者施設（浸水想定区域内）

- 保育所

避難等に関する情報の種類と伝達経路

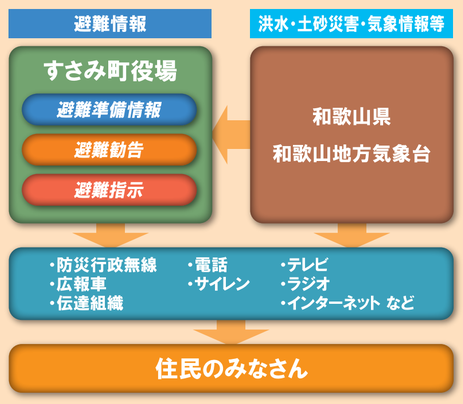
避難情報の種類

水害の危険が高まり、避難が必要となる場合には、町役場から避難情報が発表されます。どの情報か判断し、適切な行動をとってください。

	避難準備情報	避難勧告	避難指示
町からの指示タイミング	災害による人的被害の発生する可能性が高まってきている状態。	災害による人的被害の発生する可能性が明らかに高まった状態。	切迫した状況であり、災害による人的被害の発生する可能性が非常に高いと判断された状態、または人的被害が発生した状態。
とるべき行動	高齢者、子ども、障がいがある方など、避難に時間を要する方は、早めに自主的な避難行動を開始してください。	指定された避難場所へ避難行動を開始してください。	指定された避難場所へ直ちに避難してください。

情報の伝達経路

避難情報や洪水・土砂災害・気象情報等は、下図のような経路でみなさんに伝えられます。



雨や河川に関する情報の入手先

大雨による災害が予想される場合には、最新の気象情報・災害情報を入手し、災害の発生に備えましょう。

雨に関する情報	和歌山地方気象台	http://www.osaka-jma.go.jp/wakayama/wakayama.html
土砂災害に関する情報	和歌山県 砂防課	http://www.wakayamasabo.jp/new/
河川に関する情報	和歌山県 河川雨量情報	http://www.wakayamakasen.jp/index.php
避難に関する情報など	すさみ町役場	http://www.town.susami.lg.jp/

避難の心得

1 状況に応じて、すばやく避難しましょう!
町役場から情報が来る前でも、雨の状況などから判断し、避難しましょう。

2 自分の住所、氏名、連絡先などを記載した防災メモを持とう!
特に高齢者や子どもは、事前にメモを用意し、身につけて避難しましょう。

3 避難は徒歩で!
車は、約30cmの浸水で走行困難になります。車での避難は避けましょう。

4 持ち出し品は最小限に!
非常持ち出し品はリュックサックにまとめ、両手が自由に使えるようにしましょう。

5 外出中の家族には連絡メモを残そう!
「どこどこへ避難する」といったようなメモを残しておくと良いでしょう。

6 集団で助け合おう!
単独での行動は避け、近所の人たちと集団で決められた場所へ避難しましょう。

7 安全なルートで!
川べり、浸水しやすい場所などは避け、できるだけ安全な広い道を選びましょう。

8 避難場所では係りの人の指示に従いましょう!
避難場所に着いたら、住所、氏名を報告しましょう。

非常持ち出し品

持ち出し品を欲張りすぎると避難が大変です。目安は男性で15キロ、女性で10キロ程度です。

食品関係
乾パン、缶詰など火を通さないでも食べられる物やミネラルウォーターなど。

救急・安全関係
ばんそうこう、傷薬、包帯、抗生物質、常備薬など。

日用品
懐中電灯、ラジオ、電池、ライター、ナイフ、缶切り、ビニール袋、ティシュペーパーなど。

衣類など
下着、上着、タオル、毛布、手袋など。

貴重品
現金、権利証書、預貯金通帳、免許証、健康保険証、印鑑、クレジットカード・キャッシュカード類、10円硬貨、テレホンカードなど。

その他
歯ブラシ、せっけん、ほ乳びん、紙おむつ、メガネなど。

雨の強さと降り方

やや強い雨	強い雨	激しい雨	非常に激しい雨	猛烈な雨
（10～20ミリ未満）	（20～30ミリ未満）	（30～50ミリ未満）	（50～80ミリ未満）	（80ミリ以上）
地面一面に水たまりができ、話し声が聞き取りにくくなります。長雨になりそうなら警戒が必要です。	土砂降りの雨。傘をさしていても濡れてしまうほどの雨です。小河川ならはん濫、また、がけくずれの心配もあります。	バケツをひっくり返したように降る雨。山くずれ、がけくずれが起こりやすくなります。下水管から雨水があふれることもあります。避難の準備を。	滝のように降り、あたりが水しぶきで白っぽくなります。屋内で寝ている人の半数くらいが気づくほどの激しい雨です。マンホールから水が噴出することもあります。	息苦しくなるような圧迫感があります。大雨による大規模な災害が発生するおそれが強く、厳重な警戒が必要です。

土砂災害について

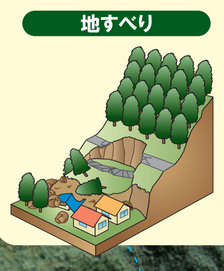
大雨時、台風時などや地震が起きたときには、地盤がゆるみ土石流やがけくずれ、地すべりといった土砂災害が起こる可能性があります。土砂災害から身を守るためには、まず自分の家の周りに危険がないか確かめることが重要です。また、土砂災害には前ぶれ現象があります。前ぶれ現象を感じたら速やかに避難するようにしましょう。

土石流

谷や斜面に溜まった土砂が、大雨による水といっしょになって、一気に流れ出してくるものです。破壊力が大きく、速度も速いので、大きな被害をもたらします。「山津波」とも呼ばれます。

こんな現象に注意
- 山鳴りや、立木がさける音がする
- 川が濁ったり、流木が混じり始める
- 雨が降り続いているのにもかかわらず、川の水位が急激に下がる

地すべり



地中の粘土層などすべりやすい面にしみ込んだ雨水などの影響で、山腹がゆっくりと動き出す現象です。比較的緩やかな斜面でも起こります。一度に広い範囲が動くため、住宅や道路、耕地などに大きな被害をもたらします。

こんな現象に注意
- 地面にひび割れができている
- 地面の一部が陥没したり、隆起している
- 池や井戸の水が急に減ったり、濁ったりしている

がけくずれ

地面にしみ込んだ雨水などが土の抵抗力を弱め、弱くなった急ながけ地や斜面が突然くずれ落ちる現象です。地震によって起こる事もあります。突発的に起こり、短時間のうちにくずれたり落石があるので、逃げ遅れた場合、死者が出る割合が高くなります。

こんな現象に注意
- がけに亀裂がある
- がけから小石がパラパラと落ちてくる
- がけから急に水が湧いてくる

【周参見川・太間川の浸水想定】

このマップに示した浸水想定区域は、大雨によって周参見川・太間川がはん濫した場合に想定される浸水範囲と水深を示したものです。

浸水想定に用いた降雨条件は、以下のとおりです。
●周参見川・太間川流域の24時間総雨量307ミリ

なお、周参見川・太間川以外の河川や支川でのはん濫、想定を超える降雨、高潮、内水はん濫は考慮していません。そのため浸水想定区域でないところで浸水が発生する場合や想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

平成20年3月作成